

**伊方発電所から通報連絡のあった異常について  
（令和4年3月分）**

R 4 . 4 . 11  
原子力安全対策推進監  
電話番号 089-912-2352

1 令和4年3月に、安全協定に基づき四国電力(株)から県へ通報連絡があった異常は次のとおりですので、お知らせします。

県の 公表 区分	異常事項	発生 年月日	概 要	管理 区域 該当	国へ の 報告	備考
A	四国電力社員の 新型コロナウイルス 2次感染	4.3.17	<p>伊方発電所に勤務する四国電力社員1名が新型コロナウイルスに感染していることを確認した。</p> <p>当該社員の接触者のうち、体調不良を訴えた四国電力社員1名について抗原検査を実施したところ、新型コロナウイルスに感染していることを確認し、発電所の従業員間で感染した可能性が高いものと判断した。（2次感染の可能性）</p> <p>感染を確認した四国電力社員2名は、運転に関する業務に従事しておらず、また、運転員との接触もないため、本件による伊方発電所の運営及び安全性に影響はない。</p> <p>引き続き、保健所等の関係個所と調整し、更なる接触者の調査・囲い込み等の必要な対応を実施した。</p> <p>その後、新型コロナウイルスの感染が確認された四国電力社員2名の接触者39名の調査・検査を実施したが、全員が陰性であることを確認した。このことから、本件についての調査は終了した。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を確実に実施する。</p>	外	×	速報済
B	使用済燃料ピット 監視カメラの 異常 （3号機）	4.3.18	<p>伊方発電所3号機は通常運転中のところ、3号使用済燃料ピット監視カメラの定期点検実施中に、当該カメラが正常に動作しないことを保修員が確認し、保安規定に定める運転上の制限から逸脱した。</p> <p>3号機の使用済燃料ピットの水位、温度の監視状態に問題はない。</p> <p>本事象による環境への放射能の影響はない。</p> <p>その後、現地を確認したところ、使用済燃料ピット監視カメラシステム制御盤のサーバが故障し、監視カメラの画像が表示モニタに表示できなくなったものと推定した。</p> <p>そのため、当該サーバを予備品に交換し、その後、監視カメラの画像表示状態に問題がなく設備に異常がないことを確認したことから、運転上の制限の逸脱から復帰し、通常状態に復旧した。</p>	外	×	速報済

県の公表区分	異常事項	発生年月日	概要	管理区域該当	国への報告	備考
A	四国電力社員の新型コロナウイルス2次感染	4.3.18	<p>伊方発電所に勤務する四国電力社員1名が新型コロナウイルスに感染していることを確認した。</p> <p>当該社員の接触者のうち、体調不良を訴えた四国電力社員1名について抗原検査を実施したところ、新型コロナウイルスに感染していることを確認し、発電所の従業員間で感染した可能性が高いものと判断した。(2次感染の可能性)</p> <p>その後、当該社員の接触者のうち、体調不良を訴えた四国電力社員1名について抗原検査を実施したところ、新型コロナウイルスに感染していることを確認した。</p> <p>また、別案件として陽性が確認された四国電力社員1名の接触者のうち1名について、抗原検査を実施したところ、新型コロナウイルスに感染していることを確認し、その後保健所により同一事案として判断された。</p> <p>引き続き、保健所等の関係個所と調整し、更なる接触者の調査・囲い込み等の必要な対応を実施した。</p> <p>感染を確認した四国電力社員5名は、運転に関する業務に従事しておらず、また、運転員との接触もないため、本件による伊方発電所の運営及び安全性に影響はない。</p> <p>その後、新型コロナウイルスの感染が確認された四国電力社員5名の接触者65名の調査・検査を実施したが、全員が陰性であることを確認した。このことから、本件についての調査は終了した。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を確実に実施する。</p>	外	×	速報済
B	一次冷却材中のよう素濃度の上昇(3号機)	4.3.18	<p>伊方発電所3号機は通常運転中のところ、一次冷却材中のよう素-131濃度が通常の約3倍程度に上昇していることを確認した。</p> <p>今後、監視を強化し、詳細を調査する。</p> <p>放射線モニタの値に異常はなく、環境への放射能の影響はない。</p>	内	×	速報済
C	エタノールアミン含有排水生物処理装置からの苛性ソーダの漏えい(3号機)	4.3.23	<p>伊方発電所3号機は通常運転中のところ、エタノールアミン含有排水生物処理装置(現在運用停止中)の苛性ソーダ貯槽付近から苛性ソーダが漏えいしていることを運転員が確認した。</p> <p>漏えいした苛性ソーダは全量防液堤内に留まっており、環境への影響はない。</p> <p>本事象によるプラントへの影響及び環境への放射能の影響はない。</p> <p>その後、苛性ソーダ貯槽に直接接続されている弁からの漏えいを確認したため、当該貯槽の苛性ソーダの抜き取りを行い、漏えいは停止した。漏えい</p>	外	×	今回公表

県の公表区分	異常事項	発生年月日	概要	管理区域該当	国への報告	備考
			<p>した苛性ソーダは約2.1 m<sup>3</sup>(雨水含む)と推定した。</p> <p>苛性ソーダ貯槽は、今後使用予定が無いことから、漏えいを確認した弁を取り外し、配管部への閉止板の取り付けを完了した。</p> <p>また、漏えいした苛性ソーダは全量防液堤内に留まっており、全量を回収し、今後、総合排水処理装置で処理する。</p>			

2 外部への放射能漏れや周辺環境放射線への影響はありませんでした。